

# 校長室だより

岸和田市立浜小学校 平成26年度3号

新しい学年になって2ヶ月たちました。

子どもたちは、おうちで学校のこと、友だちのこと、先生のこと、いろいろなことを話していることでしょう。

毎日忙しくしているときに限って「なあ、きいて！」と纏わりついてきませんか？で、ついつい「今忙しいからあとにして！」ということになっているのではないのでしょうか。でも、時間ができて「さっきの話、何？」と言うと「もうええよ」とか「忘れた」という返事が・・・。

タイミングって大切ですね。

教育は「今日行く」だと言われています。学校は、子どもの話も保護者の方の話もタイミングを逃さずに聴いて、そして一緒に考えたいと思っています。気になることがありましたら、気軽に相談してください。

## 【聴くこと】

「聞く」「聴く」「訊く」、同じような場面で使う「きく」ですが、この3つの漢字は少しずつ違う意味合いをもっています。

「聞く」・・・一番よく使われています。音は聞こうと思わなくても聞こえることがあります。主に聞こえるときに使います。

「聴く」・・・「音楽を聴く」というように意識して聴こうとして聴くときに使われる漢字です。

「訊く」・・・これは、尋ねるときの漢字です。

「聴」は、漢字をばらばらにすると「耳+目心」なので、

「耳と目と心できく」ときの漢字と言われ、私の好きな漢字です。

本校の子どもたちには、「この聴くで聴きましょう。」と伝えています。

いつもこの「聴く」で話が聴きあえる関係を築きたいと思っています。



## 【避難訓練（火災発生）を行いました】

5月20日（火）避難訓練を行いました。給食室から出火したとの想定で、子どもたちは「おかしもすき」（お：押さない、か：かけない、し：しゃべらない、も：もどらない、す：すばやく行動、き：聴く）を合言葉にハンカチで口を押さえて、2分30秒で全員グラウンドに避難することができました。

「どうして避難訓練をするの？」という私の問いに「命が大切だから」という答えがすぐ返ってきました。すばらしいです。

本当に災害が起こった時に、訓練どおりにできるわけではありません。その時に何を大切に考えて避難するのかを教室で担任から事前事後指導しています。また、おうちでも命の大切さについてお話される場面もあったのでしょうか。

避難訓練は、大切な命について考える時間にもなりました。

あのね  
自分にとって  
一番大切なものは  
自分のいのちなんだよ  
だから  
すべての他人の  
いのちが  
みんな大切なんだよ

相田みつを

命の大切さを知っているのに、子どもたちの会話の中でときどき聞こえてくる「死ね！」「ぼけ！」「あほ！」などの「ちくちくことば」。「そんなことしたらあかんやろ！ぼけ！」のように、正しいことを言っているのに、文末に残念な「ちくちくことば」が・・・  
言葉を意識して話すことを学校でも指導していきます。

## 《あいさつ運動が始まりました》

朝、たてわり班で校門に立って、登校してくる人に「おはようございます」とあいさつします。「おはようございます」を「アイコンタクト」で、「笑顔」で、「大きな声」で、「自分から」、言えている人もまだ照れている人もいます。  
みんなが気持ちよく一日を始められるよう、立っている人も登校してくる人もステキな「おはようございます」をめざしてほしいです。